

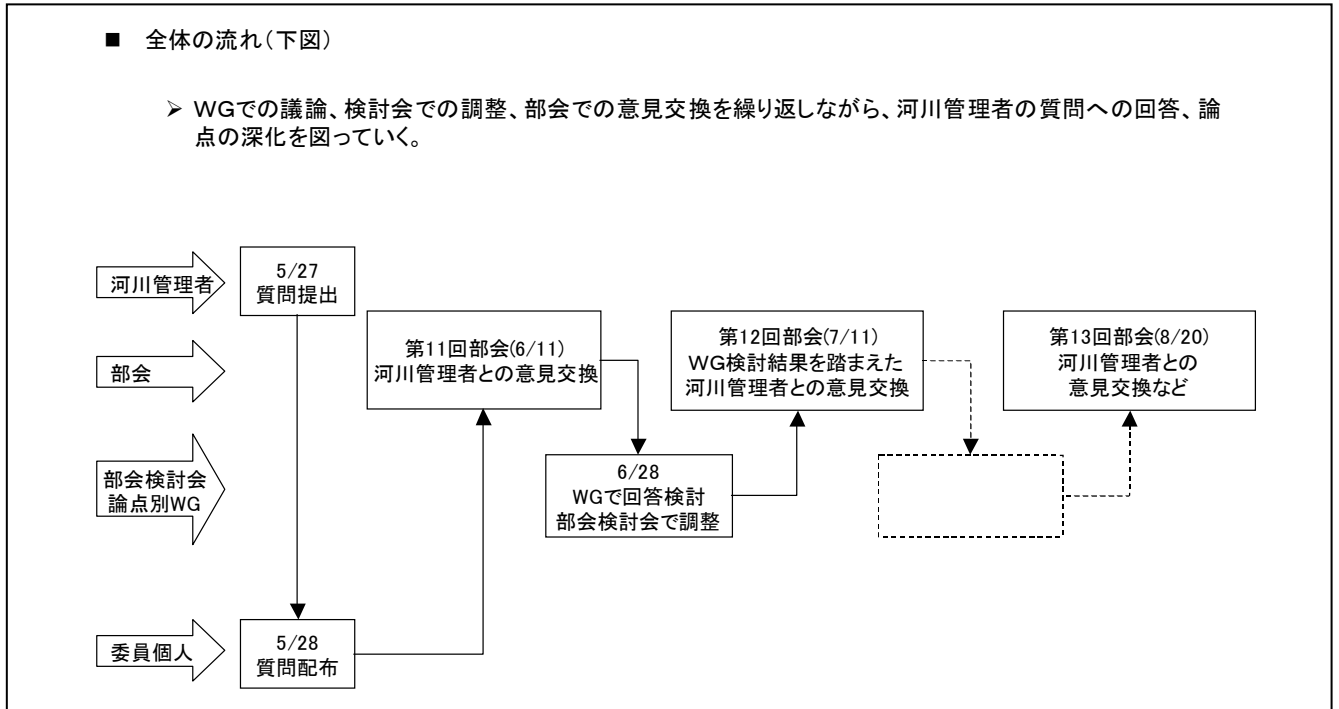
## 今後の猪名川部会の活動等について

### 1 中間とりまとめに関する河川管理者との意見交換の状況

- 5/29：河川管理者からの質問事項の提出（猪名川部会中間とりまとめ）
- 6/3～：質問事項への各委員の回答案、意見を募集
- 6/6：第12回委員会にて「委員会中間とりまとめ」を第11回委員会に引き続き検討
- 6/11：第11回猪名川部会にて猪名川部会中間とりまとめについて意見交換（予定）
- 6/28：部会検討会および論点別WGを開催し、WGごとに河川管理者の質問への回答案を検討
- 7/11：第12回猪名川部会にて、6/11に引き続き2回目の意見交換を実施

#### <部会、部会検討会、WGの位置付けについて>

- 部会：部会としての審議、決定の場。
- 部会検討会および論点別WG：  
部会における審議内容のたたき台を検討する場。今後の部会の進め方を検討する場。WGの案（意見）の集約・調整（委員間での意識合わせ）



## 2 一般意見聴取に関する試行、検討

これまで

1/27：猪名川部会一般意見聴取の会を実施

今後

- ・一般意見聴取の試行としての現地フィールドワークと現地対話集会の実施が提案されており、フィールドワークについては有志で7月中旬～8月上旬にかけて試行する予定。

### <委員会、他部会における状況>

流域委員会としての一般意見聴取（通常実施／昨年12月に実施）

一般意見聴取の会の実施（委員会、琵琶湖部会、淀川部会）

淀川水系流域シンポジウムの実施

中間とりまとめに関する意見募集（7月末締め切り）

現地視察時に意見交換（琵琶湖部会）

現地対話集会を予定（淀川部会）

## 3 委員の追加・拡充について

琵琶湖部会（17名）、淀川部会（19名+部会長からの依頼による部会以外の委員の計20名）に対して猪名川部会の委員は12名であるため、各委員が所方で欠席された場合、出席委員数が少なくなり、活発な議論、多様な立場からの議論が難しくなる。今後、河川整備計画の具体的な審議を行っていく際に、必要と思われる分野の専門家の知識、支援が必要となってくる。

参加の形態としては、WG・検討会に直宜参加して頂く等が考えられる。

現在、部会委員より候補者を推薦頂いており、河川工学、水文学、地盤工学、法律分野の専門家が候補に挙がっている。

また、委員会委員や他部会委員のなかで随時議論に必要な専門分野の委員に参加頂くことも考えられる。

## 4 その他

今後、部会の議論を深めるなかで、委員会の議論や委員会WGの議論、他部会での議論を共有していく必要がある。

そのため、委員会、委員会WGや他部会を傍聴するなど交流を促進していく必要がある。

以上